

会報 なかさ

E-mail nakasatokouryusenta@net1.jway.ne.jp

中里学区コミュニティ推進会
 発行責任者 石川 諒一
 編集事務局 皆川 汪
 TEL 0294-70-8005

中里学区人口 R6.7.1 現在
 世帯数 411
 総人口 917
 男 428 女 489

堀江 翔君 技能五輪国際大会(フランス・リヨン)に日本代表で出場

快挙

入四間町宿の堀江翔君は、今年9月にフランスリヨンで行われる「第47回技能五輪国際大会」に出場します。

堀江君は、2018年に中里小中学校を卒業し、日立市成沢町の「日専校」に入学、学業と技術を研鑽し三菱重工高砂工場入社し更に技術を磨き、特に電気溶接部門において、代表で地方大会・全国大会に出場し令和5年の大会で優勝し国際大会の日本代表として選出された。



中里小中学校の昇降口の正面に等身大の堀江君の写真がある

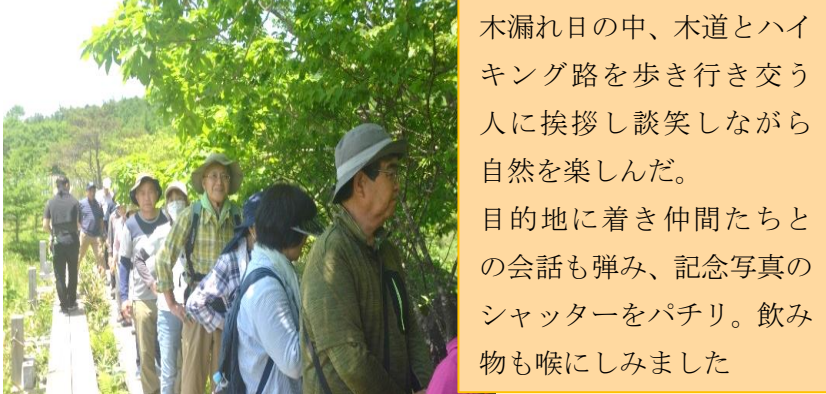
本大会は、現在2年に1回開催されていますが、元來は第二次世界大戦後、若者の将来を憂いたフランス・アルバート・ビダル氏により、職業訓練の振興と技術の向上、青年技術労働者の国際交流と親善を目的に1950年スペインとポルトガルの2か国の選手が参加した大会として始まった。

現在は60か国以上の国、地域から1300名以上の選手が参加する世界最大級の技能の祭典です。今年9月10日から15日の5日間技能競技が行われ、勝敗も決定しますが、何よりも国際大会の出場により更に技術の研鑽、国際交流を経験し日本の物作りに役立てて戴きたい。健闘を祈ります。結果は、堀江君本人が10月の「澄水祭」に児童・生徒さんの前で詳しく発表頂けるとのこと。期待し応援しましょう！

令和6年度春の中里学区歩く会を開催

令和6年6月16日雨の中、栃木県沼ッ原湿原へ向けて出発。バスの中はみんなでおしゃべりしながら楽しい雰囲気でした。途中、道の駅での休憩をはさみながら現地での特産品に旅行気分は上昇、沼ッ原に到着し美しい那須連山の自然の中班を組み散策へ出発、現地は青空も見え清々しい空気の中、各々が美しい環境を楽しみました。その後は板室健康の湯グリーン・グリーンに移動し入浴休憩、なんとここで雨が降生、タイミングの良いやら悪いやらで各々疲れを癒しました。

帰りはバスの中で環境にまつわるクイズ大会、ビンゴ大会でレクリエーションを楽しみ午後6時半に中里に帰ってきました。この会の様子を下記の写真でお楽しみください。普段、中里の自然に囲まれていると慣れきってしまいがちですがこうして他所の自然環境に触れることで中里の自然も再認識できます。



木漏れ日の中、木道とハイキング路を歩き行き交う人に挨拶し談笑しながら自然を楽しんだ。目的地に着き仲間たちとの会話も弾み、記念写真のシャッターをパチリ。飲み物も喉にしみました

定額減税が実施されます

令和5年11月に「デフレ完全脱却のための総合経済対策」(閣議決定)が示され、この中で、賃金上昇が物価高に追い付いていない国民の負担を緩和するためとデフレ脱却のための一時的な措置として令和6年分所得税及び令和6年度分住民税を減税することが示されました。

この中で、給与所得者並びに事業主の方は、会社からの説明及び税理士からの指示などで行われており今年6月の給与から反映されています。中里学区内には高齢者が多く年金による生活者が多いため高齢者の定額減税についてわかりやすく説明します。

1. 公的年金受給者で所得税・住民税の課税者の定額減税

■所得税および住民税の定額減税が行われます。

- * 所得税分 3万円×減税対象人数 * 個人住民税分 1万円×減税対象人数
- ① 減税しきれないと見込まれる方に **補足給付金が給付**されます
- ② いくら支給されるの? 上記の*印分まで減税できなかった金額、1万円単位に切り上げて算定した(調整給付金)が支給されます。
- ③ 給付対象者となる方には、**8月中に市から給付についてのお知らせが郵送**されます。(電話などで連絡することはありませんので) **注意**ください。

2. 公的年金受給者で所得税・住民税非課税世帯の方

■物価高騰対策支援給付金が支給されます。

- ① 定額減税の対象とならない住民税非課税世帯や低所得者世帯には給付金が支給されません。住民税非課税世帯には、2023年に支給した3万円に加えて7万円を支給し、所得税非課税で住民税を支払っている低所得者世帯には10万円を支給します。2023年住民税課税だった方でも2024年度に住民税非課税もしくは均等割りのみ課税となった世帯も給付の対象です。
- ② 今回の支給対象者

デフレ完全脱却のための総合経済対策における新たな物価高騰対策

ご注意ください(電話や訪問での案内は詐欺)
 定額減税・補足給付金・物価対策特別給付金については**絶対に電話や訪問での案内はありません。**
 該当者には、日立市から**案内が郵送**されます。



	所得税	住民税
本人	30,000円	10,000円
配偶者または扶養親族	1人につき30,000円	1人につき10,000円

定額減税で控除される金額

(2024年度)において新たに住民税非課税となる世帯または住民税均等割のみ課税となる世帯)に対して、1世帯あたり10万円を給付します。

以下の場合は対象外

- 令和5年度(2023年度) 住民税非課税世帯への7万円給付金の対象世帯
- 令和5年度(2023年度) 住民税均等割のみ課税世帯への10万円給付金の対象世帯

②上記の支給対象者には、7月末から8月にかけてお知らせが郵送されます。必要事項記入し申請します。同様に電話などで支給問い合わせはありませので**注意**ください。

日立市の廃食用油から飛行機が飛ぶ!!

日立市は今年6月12日(株)ENEOS、(株)吉川油脂(本社 栃木県佐野市)の2社との間に「持続可能な資源循環社会の実現に向けた廃食用油の有効活用に関する協定」を締結した。この協定の締結は茨城県においては小美玉市に続き2例目であり「日立市の廃食用油で飛行機を飛ばそう」というキャッチフレーズを発表した。日立市は元々、平成21年より一般家庭からの廃食用油の拠点回収を開始、平成27年からは石炭やインク塗料などへの再利用・リサイクルに取り組んでいた。近年、欧州において航空機燃料の脱炭素が協議されており、廃食用油等のバイオマス資源を原料とするSAF(Sustainable Aviation Fuel:日本語訳:持続可能な航空燃料)は従来のジェット機燃料と比較し二酸化炭素排出量が60%から80%程度に提言することができ魅力的な航空燃料として世界的な注目を浴びている。ENEOSは2027年から和歌山県でSAF製造を目指しており同社によると廃食用油は回収量の8割をSAFに生成可能で日立市の2022年の回収実績の約2万リットルを原料として試算すると茨城空港から台湾まで150席分の飛行機の片道分の燃料になるという。廃食用油は日立市の各交流センターに設置された回収ボックスから回収業者によって定期的に回収され資源化され燃料になったり製品になったりする。中里交流センターにも回収ボックスはあるのでこれをきっかけに協力していただける方は是非お願いします。



突然ですが、今年度より広報活動の見習いをしています。

初めまして、私は後藤寛明と申します。現在は東河内で農業を営んでおりこうして広報活動も並行して行っています。現在は見習いであり来年から発行業務全般を担当するのは是非よろしく願います。趣味としてイギリスのロック音楽が高校時代から好きでよく聞いたり歌ったりしています。座右の銘は「I am free to be whatever I」(自分が何になろうと何しようそれは自分の自由だ。)です。

新都市広場で行われたエコフェスにて日立市の第1次産業従事者達が出店

早速ですが、私自身も出品したイベントについてご紹介します。日立市というやはりほとんどの人は工業都市の側面しか目に入らないと思いますが、そんな日立市にも第一次産業に従事し魅力的な作物を生産する人もいます。我々は「ひたいち」という団体名で今年6月より活動開始、会長の本宮町の農家、割貝伸太郎さんは「日立は衰退したとかもう終わりだとかそんなこと言う前に日立にも美味しいものがあることを知ってから判断してほしい。」と普段はひょうきんな人柄ながら心に熱い情熱の炎をたぎらせるナイスミドル。今回のイベントは7月20日にシビックセンターの新都市広場で環境をテーマにしたフェスティバルとして行われました。

春のスポーツ大会

体育部(綿引千尋部長主催 長寿部(会沢修部長共催)

4月20日(土) 緑色に染まった中里小中学校のグラウンドに40名の参加者が集い、令和6年の春のスポーツ大会が行われました。小学生も交じり、荒蒔校長先生と荒川教頭先生も特別参加頂き、グラウンドゴルフ・輪投げ・パンポンの3種目個人戦で開催。一喜一憂し和やかに行われた。3種目の優勝者を紹介します。グラウンドゴルフ優勝者の大津氏

「とにかく面白いようにパーディが取れた」2位と2打差で優勝。パンポンの優勝の中島氏「決勝の相手が強豪大部勝美さんなので緊張した」日立発祥のスポーツで優勝できて嬉しい」

輪投げ優勝の石川会長も僅差で優勝「力まず腐乱に輪を投げられた」

ちなみに輪投げの子供の部優勝の千葉奈々子さんが40点で最高点数でした。次回も実施しますので奮って参加お願いします。

来春の大会はスナックゴルフも追加されるか?

されるか?

体育部の渡邊仁一氏、ラジオ体操の終了後に、新たにスナックゴルフの競技器具10人分購入したことの説明がありラジオ体操後に子供たち・大人たちで芝のグラウンドでデモンストレーション。

「楽しいと盛り上がった。」クラブ2本使え分けが面白い」荒川教頭先生は、子ども達にも是非普及させたいとの構想を話してはる。



輪投げの部 優勝 石川 諒一氏



パンポンの部 優勝 中嶋 繁雄氏



グラウンドGFの部優勝 大津 満夫氏

マイナ健康保険証に関して 実際に使ってみよう

従来の健康保健証は今年中に新規発行なくなり

医療機関に行き診察や薬受領に窓口で健康保険証を提示しますが、今年の12月2日以降は新たに健康保険証の発行はなくなります。保険証の有効期限が12月以降の人はマイナカード(健康保険証紐付き)を提示します。つまり、マイナカードを持っていない人や持っていない健康保険証を紐付けていない人は、資格確認書を健康保険組合や各自自治体に申し込み発行を受けなければなりません。廃止日より1年間旧保険証は有効ですが今年中にはマイナカード発行申請や健康保険証の紐付けも行っていないほうが賢明です。マイナカードの受給率は全国では約80%(令和6年6月現在)で、中里学区内も約80%となっています。(住民登録値による数値)

マイナカード保険証のメリット

- ① 診療情報を確認できる 特に複数の医療機関にかかっている場合は、医療情報を一元的に管理できる。
 - ② 窓口支払いで限度額以上の支払いが不要となる 高額医療の申請が不要で一時的な診察費縦替えも省略される
- 日立市の医療機関の殆どでマイナカード使えます。 賀美診療所も使えます

ラジオ体操を芝のグラウンドで行いました。

行いました。

7月21日(土)

中里小中学校の芝グラウンドで50名の児童・生徒・地域人たちが日立市発祥のラジオ体操を行いました。

「芝の上での体操気持ちよかった」と大好評でした。毎年行っています。参加してみたいかが>

